



写真1 東屋と継ぐウッドデッキ

頼が有り、出来上がったのが、この写真(1)のウッドデッキと一体のパーゴラ(東屋)です。

雑草対策 の 一例としても！

コロナ以来一人キャンプや、お家時間の過ごし方が世間の話題に上がることが多くなつた此の頃です。こんな折り、既にあつたサークルの上に日除けの東屋を創ってくれとのお客様からの依頼が有り、出来上がったのが、この写真(1)のウッドデッキと一体のパーゴラ(東屋)です。



写真2 鳥の巣作りか？

ウッドデッキは、もちろん室内と連絡でき、いわば室外にできた、もう一つのリビングです。鳥の巣を想起させる、栗の風倒木を多用した屋根作りには、雨除け日除けとしてテントに使うシートを用いました。このお宅の立地には背景として雑木林が有り、イメージを統一してみました。雑草防止や春先の泥濘(ぬかるみ)の解消など望外の副産物も有難いことです。コロナ明けには家族でのバーベキューを楽しみにされる事でしょう。



(有)林庭園設計事務所
〒193-0823 東京都
八王子市横川町991-6
TEL：042-622-8840
再刊 VOL.7

OUTDOORの もちひつこのリビング作りの紹介

堂々と、植物採取用の胴乱をぶらさげ、手には根堀りを持って大っぴらに野山を闊歩すれば、自然保護のやかましい今であつては、自然破壊者と決めつけられてしまう。この牧野先生も、大正時代末期軽井沢に於いてサクラソウを採取した際、有名な政治家である、



今NHKの朝のドラマ、いわゆる朝ドラのモデルとして有名な牧野富太郎博士は、明治、大正それに昭和の初期に活躍された。この時期は植物



写真3 洗い出しサークルに東屋

学者にとつての黄金時代であつたといえる。堂々と、植物採取用の胴乱をぶらさげ、手には根堀りを持って大っぴらに野山を闊歩すれば、自然保護のやかましい今であつては、自然破壊者と決めつけられてしまう。この牧野先生も、大正時代末期軽井沢に於いてサクラソウを採取した際、有名な政治家である、



今号は、室内では出来ないバーベキューなどが出来る庭活用術の一例として“C”邸の作例を取り上げてみた。今や庭の維持管理も大変です。ローメンテナン

尾崎号(かく)堂やまた尾瀬の今でもある、長蔵小屋の主人平野長蔵さんから燧(ひうち)岳のコマクサや尾瀬の固有種を当時の大八車四台にそれぞれ根こそぎに採取し、自然破壊犯第一号として一喝を喰らったこともある。とはいえ彼の標本数は、四トトラック十台分有り、八王子の都立大学に有り今だ未整理とのこと。